

科目名	カリキュラム論		担当教員	小久保 圭一郎		
			担当形態	単独		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「保育用語辞典」ミネルヴァ書房 「最新保育講座5 保育課程・教育課程総論」ミネルヴァ書房	単位数 授業形態	2単位	講義	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育における計画の意味と考え方を理解し、実際に指導案を作成することができる。 ・様々な計画とそれぞれの持つ特徴について理解し、説明できる。 ・環境を通して行う教育について説明できる。 <p>■授業の概要</p> <p>保育者の援助には必ず意図があり、その意図に基づいて子どもへの関わりや活動が行なわれている。ここで言う意図とは、一人ひとりの子どもの成長や発達の姿を見通し、それと照らし合わせながら、その時期その場面その子どもにとって適切であろうと判断しかかわっていく際の根拠となるものなのだ。保育のカリキュラム、すなわち保育における計画は、そうした日々の子どもへの関わりや活動の意図を考えていく上での基本であり、そのため上記「到達目標」が設定されているのである。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 保育における計画の基礎的知識 第2回 保育における計画の種類とその意義 第3回 部分的な活動における指導計画の書き方 第4回 環境を通して行う教育にかかわる基礎的理解 第5回 環境を通して行う教育と保育課程 第6回 指導計画の反省評価 第7回 0歳児の発達に即した指導計画 第8回 1歳児の発達に即した指導計画 第9回 2歳児の発達に即した指導計画 第10回 3歳児の発達に即した指導計画 第11回 4-5歳児の発達に即した指導計画 第12回 保育における計画の変遷とその背景 第13回 地域に根ざした保育課程編成の検討 第14回 カリキュラム・マネジメントの意義とその重要性 第15回 カリキュラム論にかかわる基礎的事項の確認とこれまでの学習成果のまとめ</p> <p>■準備学習</p> <p>授業内配布のレジメを読み込んだ上で、次回までに内容を記述できるようにしておき、授業始めの小テストに臨む。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 — 50% ・授業内課題 — 30% ・授業内小レポート — 20% 						
参考文献	文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 厚生労働省「保育所保育指針解説書」フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館	特記事項	【課題等へのフィードバック方法】 ・試験後、模範解答を提示して解説を行う。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修	幼	教職に関する科目			
		保	保育の内容・方法に関する科目			